

SD- IX (SD-9)

紙幣硬貨入金機

取扱説明書



■ はじめに

このたびは、紙幣硬貨入金機「SD- IX」をご採用いただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書には、製品の操作方法および使用上の注意事項を記載しております。
本書をお読みいただき、安全遵守事項、製品の性能、操作方法を十分にご理解のうえ、ご使用ください。

■ ご注意

この製品は、流通通貨の精算を目的に開発しております。
他の目的で当社の許可なく使用したり、当社または当社委託の業者以外で改造し、使用した場合の損害については、その責任を負いかねます。
この製品の設置および移設に関しては、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご相談ください。

この装置は、商工業地域において使用されるべき情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- この製品は、仕様に定められた流通通貨用に製造しております。
この製品を他の目的に使用しないでください。
- この製品は、日本国内で使用することを目的に製造しております。
その他の国では、電源仕様、安全規制が異なるため使用できません。
- 本書の記載事項は、事前通知なしに変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、常に製品の改善のために努力しています。したがって、実際の製品と本書とは多少の相違が生じることがあります。
- 本書のデータの使用に起因する第三者の特許権、およびその他の権利での損害については、その責任を負いかねます。
- 流通通貨の変形・破損・変質・盗難に伴う損害、および偽造、破壊などの犯罪行為の補償は、一切行いません。
- 営利目的での本書の無断転載を禁止します。
- 本製品に搭載しているリーダーライターは、電波を使用した無線設備のため、設置場所や操作にあたっては医療機器に影響を及ぼす恐れがあります。
植え込み式心臓ペースメーカー等の装着者が使用される場合は、十分に注意ください。

安全にお使いいただくために

警告図記号と記載事項	1
ご使用前の安全遵守事項	2
警告図記号のラベルについて	8
製品の長期使用における経年変化について	11

各部の名称と機能

外観（紙幣部・硬貨部）	12
外観（本体部・収納部）	13
内部（紙幣部・硬貨部）	14
表示部	15
状態表示ランプ	16

お使いになる前に

使用する紙幣・硬貨について	17
休止モードについて	18

日常の操作

日常の操作	19
紙幣・硬貨を投入する	20
「引渡」（通常引渡）操作のしかた	22
「金額指定引渡」操作のしかた	25
「計数」操作のしかた	29
「バッチ」操作のしかた	31
「締め」操作のしかた	33
「両替金取出」操作のしかた	34
再印字のしかた	37

プリンター用紙の交換のしかた	39
紙幣部の開閉のしかた	42
上カバーの開閉	42
紙幣識別部の開閉	43
紙幣搬送部 1 の開閉	44
紙幣搬送部 2 の開閉	45
操作部の開閉	46
硬貨部の開閉のしかた	47
硬貨投入口の開閉	47
硬貨搬送部の開閉	49

困ったときは

画面に「〇〇を取り出してください」と表示されたときは	50
紙幣投入口を確認する	50
硬貨投入口を確認する	52
エラーが発生したときは	54
エラー発生時の対処のしかた	55
紙幣部でエラーが発生したときは	55
硬貨部でエラーが発生したときは	57
その他のエラーが発生したときは	59

その他

製品仕様	60
付属品一覧	61
廃棄についてお願い	61

本書の見かた

各ページの見かたや、本文中にある補足説明について記載しています。
説明する内容によって、次のようなマークを使用しています。

大項目です

● 日常の操作

このページで説明している
項のタイトルです

● 「両替金取出」操作のしかた

下記の手順に従って「両替金取出」操作を行ってください。

操作順、操作のしかたです

1

磁気カード挿入口にIDカードを通す。
磁気カードの磁気部を下側にして、磁気カード挿入口の溝の左側に差し込み、
溝に沿って磁気カードを右に移動させてください。



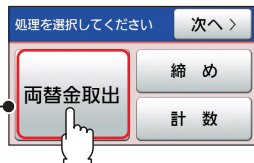
注意

- ・硬貨カセット内に両替金がある状態でのみ行えます。
- ・両替金取出権限を持つカード以外は受け付けません。

操作の写真、イラスト、画面
です

2

[両替金取出] を押す。
該当するモードが画面にない場合は、[次へ] を押してください。



3

取手を右に回す。
取手を回すと収納部が少し前に飛び出します。



注意

収納部が飛び出すときに、体が当たらないよう注意してください。
ケガをする恐れがあります。

安全にお使いいただくための
警告・注意事項を記載し
ています

38

次ページへ ▶▶▶

※上記の見本ページは説明のため、実際の手順とは異なります。

注意

: 操作についての注意事項を記載しています



: 参照ページを記載しています



: 操作についての参考情報を記載しています

次ページへ ▶▶▶


: 手順が次のページに続くとき記載しています


安全にお使いいただくために


ここでは、お買い上げの製品を安全にお使いいただくため、製品があなたや他の人々に与える身体や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守っていただくべき事項が記載されています。ご使用前に、この取扱説明書をよく読み、正しくお使いください。

警告図記号と記載事項


各図記号は、以下のような意味を表しています。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。


 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、または物的損害のみが想定される内容を示しています。

 この記号は、製品を取り扱う際に注意すべき事項があることを示しています。指示内容をよく読み、製品を安全にご利用ください。



 この記号は、してはいけない禁止事項があることを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対にしないでください。



 この記号は、必ずしていただきたい指示事項があることを示しています。指示内容をよく読み、必ず実施してください。



ご使用前の安全遵守事項



警告

／ 設置について



製品の設置・移設の際は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。

設置が不完全なときは、転倒事故、感電、火災、やけどの恐れがあります。



製品に水がかかる恐れのある場所へは、設置しないでください。

水が製品内部に入ると、絶縁が悪くなり、火災、感電の原因になることがあります。



製品の設置・移設の際は、固定金具あるいは転倒防止用器具が正しく付いているか確認してください。

不安定な設置は、事故の原因になることがあります。



設置床面が製品の荷重に耐えられない場所や、傾きおよび凹凸で不安定な場所に設置しないでください。

床面の陥没事故および製品が不意に動いて、事故の原因になることがあります。



設置、ご使用の際は、扉、カバーの開閉、および操作が十分可能な空間をお取りください。

操作中に製品の一部が身体に当たると、事故の原因になることがあります。



取扱説明書などに記載の設置スペースを確保するとともに、通風口をふさがないでください。また、電源プラグ・コードにストレスが加わらないように設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

電源プラグ・コードに継続的なストレスが加わると、感電や発煙の原因になることがあります。



次のような場所に設置する場合は、道路法や道路交通法、消防法などに適合しなければなりません。適合条件が不明なときは、所轄官庁へご相談ください。

- 交通や防災の妨げとなる場所
- 消防設備の周辺
- 道路標識、信号機の近く
- 可燃物や可燃ガスを扱う場所（ガソリンスタンド）など
- 避難用の通路および施設

違法な設置は、事故の恐れがあります。



設置場所によっては、漏電遮断器の取り付けが電気事業法で義務付けられています。

違法な設置は、事故の原因になることがあります。



JIS 基準や業界自主基準に準拠した設置をしてください。

不完全な設置は、転倒事故、感電、火災、やけどの恐れがあります。

**警告**／ **設置について**

安全、および静電気やノイズ障害を防止するため、必ずアース工事（D種接地）を実施してください。

また、アース線は、他の製品と共有せずに必ず単独で施設してください。

アース工事は、必ず最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。

アースが不完全、または接続されていないときに、万一漏電した場合は、火災、感電の原因になることがあります。

アース線が取り付けられる所

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを 65 cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）が行われている接地端子

アース線を取り付けてはいけない所

- ガス管
- 電話専用線
- 避雷針
- 途中がプラスチックになっている水道管や蛇口



製品の周辺および内部で、シンナーなどの可燃物や可燃性ガス、揮発性の高い物を使用したり、置いたりしないでください。

製品からの発熱や電源からの引火により、爆発、火災の原因になることがあります。



次のような場所への設置は避けてください。

安全上で問題があり、また製品の老朽化を早め、故障の原因になることがあります。

- 揮発性可燃物やカーテンから 1m 以内
- ストーブ、ヒーターなどの発熱器具から 1m 以内
- エアコン、換気口などの風が直接当たる場所
- 高温、多湿、低温の場所
- 直射日光が当たる場所
- ホコリの多い場所

また、次のような場所へ設置するときは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。

- 潮風や腐食ガスにさらされる場所
- 揺れや振動の多い場所

**警告**／ **電源について**

製品を使用するときは、取扱説明書の仕様に定められた電源に接続してください。

製品仕様以外の電源に接続すると、火災、感電、漏電の原因になることがあります。



延長コードの使用やタコ足配線をしないでください。

必ず、専用のコンセントを使用してください。コードが過熱して、火災の原因になることがあります。



付属以外の電源コード、プラグは、使用しないでください。

電源コードに定格以上の電流が流れると、火災の原因になることがあります。



電源プラグの刃の部分、確実にコンセントに差し込んでください。

差し込み不良は、火災の原因になることがあります。



電源コード、プラグを改造、加工、または修復しないでください。

また、3極の電源プラグを2極に変換しないでください。

アースが不完全になり、感電の恐れがあります。



電源コードの破損による感電や火災を防止するために次のことを守ってください。

- 電源プラグを抜くときは、コード部分を引っ張らない
- コード部分に物をのせない
- 熱源の近くを通さない
- 折り曲げない、はさまない
- 踏まない、ねじらない
- 薬品類をかけない
- 束ねたまま使用しない
- ステープラーなどで固定しない



製品は指定された周波数で使用してください。

指定外の周波数で使用すると、事故の原因になることがあります。



電源コード、プラグは、他の製品や用途に使用しないでください。また、紛失、損傷したときは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店でお買い求めください。

付属の電源コード、プラグは、本製品に接続して使用することを目的に設計し、その安全性を確認しています。

他の製品や用途に使用すると、火災、感電の原因になることがあります。



電源コンセントは、非常時に電源プラグが操作できるように、製品の近くに設置してください。

非常時の対応ができなくなり、事故の原因になることがあります。

**警告**

／ 取り扱いについて



製品は取扱説明書の仕様に記載された環境下でご使用ください。

仕様環境以外でご使用になると、火災、感電の恐れがあります。



濡れた手で、製品および電源プラグ、電源コードに触れないでください。

感電の恐れがあります。



製品の作動中に、電源を切ったり、電源プラグを抜いたり、製品の扉などを開いたりしないでください。

事故の原因になることがあります。



製品の上に物や水の入った花瓶、コップなどを置かないでください。

水がこぼれたり落下することにより、火災、感電、ケガの原因になることがあります。



製品の周辺で、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。

スプレーガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、爆発および火災の原因になることがあります。



製品内部の電気部品は、雨水や清掃時の水などで濡れないようにしてください。

水で濡れると、感電、故障の原因になることがあります。



清掃や部品交換など、製品内部に触れるときは、必ず電源を切ってください。

電源が入った状態で作業すると、感電、ケガの原因になることがあります。



製品が冷えきっているとき、急に暖房を入れないでください。

急な暖房により製品内部に水分が付着し、感電の原因になることがあります。



製品を改造したり、部品を変更して製品に取り付けしないでください。また、取扱説明書に開閉指示のない箇所およびネジなどで固定しているカバー、部品などを取り外さないでください。

火災、感電、ケガの原因になることがあります。



製品内部、スキマにクリップ、ホチキスの針などの金属片を落とさないでください。

製品内部に金属片が落下して電気回路に接触すると、火災の原因になることがあります。



製品の可動部で手が触れる所は、作動中に手や衣服を近づけないでください。

ケガや指をはさむ恐れがあります。



長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ホコリがたまって発熱、発火の原因になることがあります。



植え込み式心臓ペースメーカーや医療用電気機器の近くで使用する場合は、次のことを守ってください。

- 植え込み式心臓ペースメーカーを装着されている方は、必ず使用前に医師に相談してください。
- 植え込み式心臓ペースメーカーを装着されている方は、本製品 IC カードリーダーから心臓ペースメーカーを 12 cm 以上離して使用してください。
- 植え込み式心臓ペースメーカー以外の医療用電気機器を使用されている方は、個別に医療用電気機器メーカーに電波による影響についてご確認ください。

**警告**

／ 取り扱いについて



設計上の標準使用期間を超えてご使用されますと、経年変化による故障が生じたり、適切な保守の実施が困難になる恐れがあります。



内部に充電部があります。取扱説明書や画面で指示された開閉箇所以外は開かないでください。
感電の原因になることがあります。



加湿器を使用するときは、製品の近くに設置しないでください。
また、超音波加湿器は使用しないでください。
噴出された霧状水滴に含まれる不純物が製品に付着し、故障の原因になることがあります。

**注意**

／ 取り扱いについて



製品内部の開閉または出し入れするときは、製品に貼り付けてあるラベルおよび取扱説明書の指示に従ってください。
誤った操作は、ケガをする恐れがあります。



カバー、扉を開いて作業するときは、ロックされていることを確認してください。
不意に扉が閉じて、ケガの原因になることがあります。



エラー解除や清掃など製品内部を操作するときは、取扱説明書の記載内容に従って操作してください。
記載内容以外の操作をすると、事故の原因になることがあります。



カバー、扉を閉じるときは、指をはさまないように注意してください。
ケガの原因になることがあります。



製品に衝撃を与えないでください。
製品が破損し、正常に作動しなくなる恐れがあります。



引出部に他の物をのせたり、寄りかかったりしないでください。
事故の原因になることがあります。



製品の汚れを取るときは、シンナー・ベンジンなどの化学薬品を使用しないでください。
破損の原因になることがあります。



当社推奨品以外のケーブルは、使用しないでください。
推奨品以外のものを使用すると、通信異常または故障の原因になることがあります。



この製品は、作動中にカバー、扉を開くと安全スイッチが入り、製品を停止します。その状態で安全スイッチに触れないでください。
安全スイッチが切れると、突然製品が作動して身体の一部をはさんだり、製品の一部が当たり、ケガをする恐れがあります。



ギアなどに触れないでください。
ケガの原因になることがあります。



取扱説明書に記載の物以外は、製品に収納しないでください。
事故の原因になることがあります。



警告

／ 保守・点検について



製品の修理は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

修理に不備があると、火災、感電、ケガの原因になることがあります。



製品から発煙したり異常な臭い、音がするときは、ただちに使用を中止して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

そのまま使用したり、放置すると、火災、感電の原因になることがあります。



製品が災害などで水没したときは、使用を中止し、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に修理、点検を依頼してください。

そのまま使用すると、火災、感電の原因になることがあります。



電源プラグおよび電源コードは、定期的に点検、清掃してください。

電源プラグが壊れていたり、電源コードが破れているときは使用を中止し、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡して交換してください。

火災、感電の原因になることがあります。



設置場所が不安定になっていないか、定期的に点検してください。異常がある場合は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店に連絡してください。

不完全な設置状態のまま使用すると、転倒事故の原因になることがあります。



電源プラグを抜き差しするときは、必ず「ブレーカースイッチ」を「切」にしてから行ってください。

故障の原因になることがあります。

警告図記号のラベルについて

警告図記号のラベルとは、製品に貼り付けてある **警告** **注意** のシールのことです。


このシールが貼ってある所は危険性があります。

説明内容を十分守り、注意して製品をご使用ください。

なお、シールが読みにくい場合やはがれそうな場合は交換してください。

交換するときは、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。


■ 外観



警告
可燃性スプレー
の使用禁止！

製品内部を清掃するときは、可燃性スプレーを使用しないでください。
火災や故障の恐れがあります。





注意
ケガの恐れあり
動作中は回転物に触れないでください

硬貨は、一度に **300枚以上**
入れないでください

硬貨投入口の動作中は、回転物に指などを触れないでください。
ケガをする恐れがあります。

■ 内部

-上カバーの閉じかた-

上カバーを
上げながら、
レバー①を上げて
ロックを解除して
閉じてください。

注意
指はさみの恐れあり

上カバーを閉じるときは、上カバー先端部を持ちながら、ロック解除を行ってください。

上カバー先端部を持たずにロック解除を行うと、指などはさみ、ケガをする恐れがあります。

注意 **注意** 指はさみの恐れあり

硬貨投入口を閉じるときは、スキマに指を入れないように注意してください。ケガをする恐れがあります。

注意 手はさみの恐れあり **③ 引く**

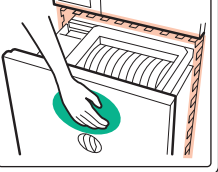
自動で閉じるため、いきなり手を放さないでください。ケガをする恐れがあります。



■ 内部

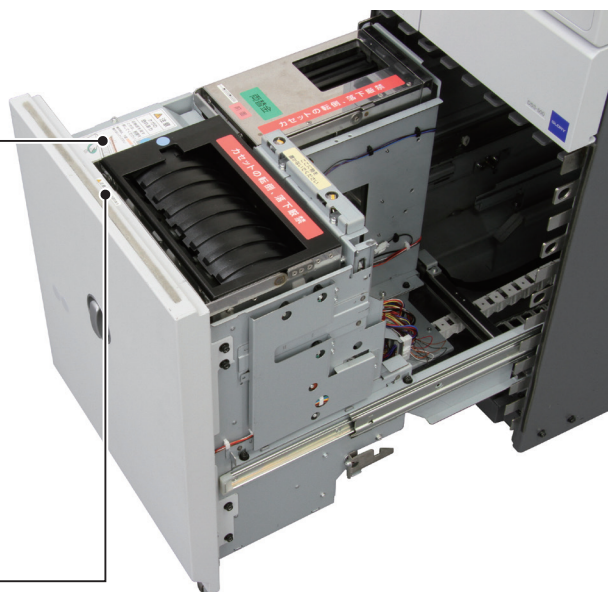
注意
ケガの恐れあり

収納部を戻すときは、**前面**を押してください
操作時は、下図 **○** 部に触れないでください



注意 手はさみの恐れあり

収納部を戻すときは、収納部前面を押してください。
他の所を持つと指をはさんで、ケガをする恐れがあります。



収納部（引き出した状態）

製品の長期使用における経年変化について

経年変化により、危害の発生が高まる恐れがあることを注意喚起するために、表示を本体に貼り付けています。以下の内容を十分にご理解のうえ、ご使用ください。

設計上の標準使用期間を超えてご使用されますと、経年変化による故障が生じたり、適切な保守の実施が困難になるおそれがあります

「標準使用期間」について

- 利用時間や温度・湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年変化に対して、販売した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間のことです。
- 標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。
また、標準使用期間の間の無故障を保証するものでもありません。適切な保守や修理、日常点検の実施を含めて作動を保証するものです。

標準使用条件

分類	項目	条件
環境条件	温度	5℃～35℃
	湿度	20%～90%（ただし、結露しないこと）
	電圧／周波数	電圧：AC100V 周波数：50/60Hz
使用条件	1日の通電時間	24時間
	1日の利用量	紙幣：2100枚 硬貨：4000枚
	1年間の利用日数	365日
	標準使用期間	5年

※設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合は、標準使用期間より短い期間で経年変化による故障が生じたり、適切な保守の実施が困難になる恐れがあります。

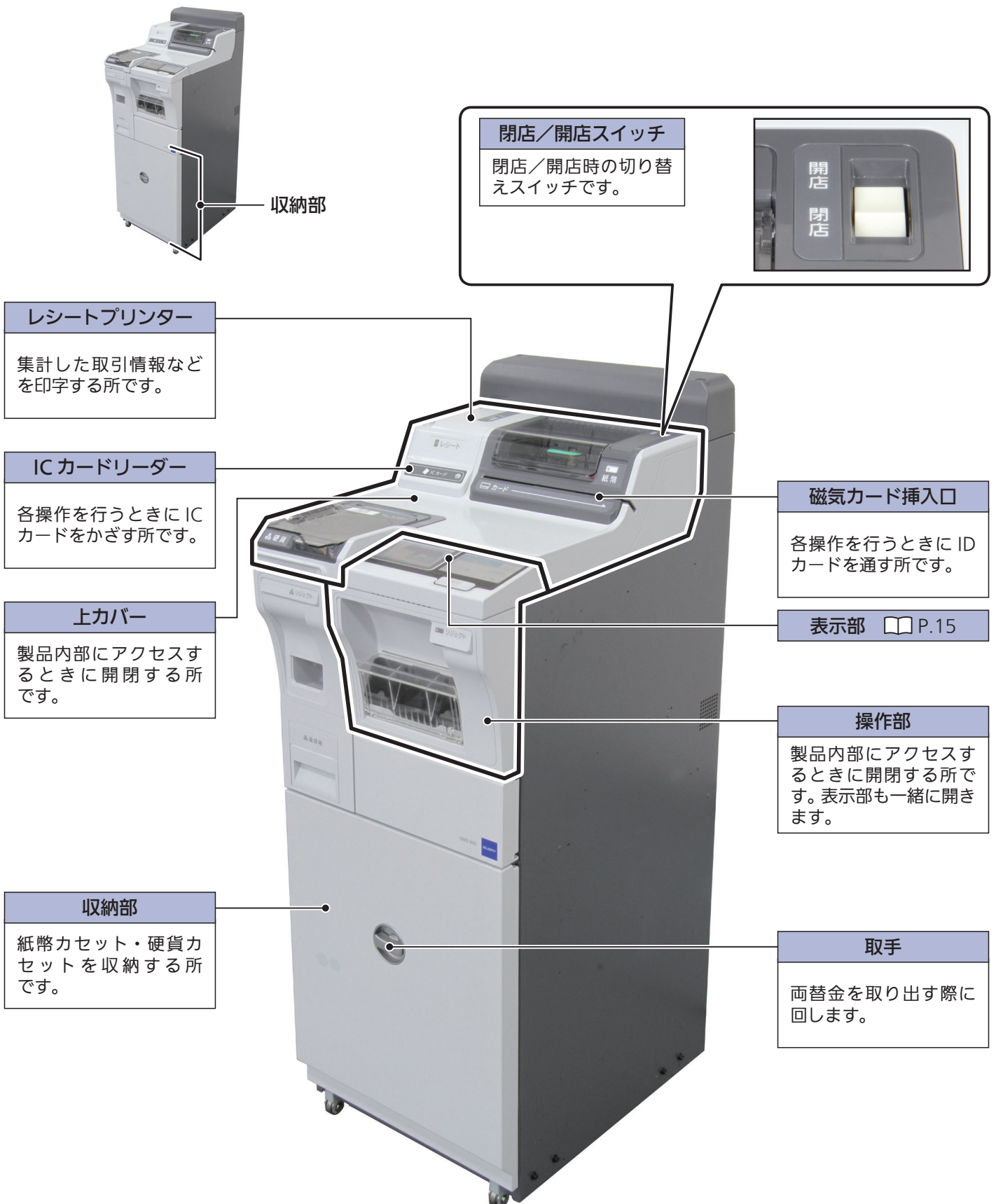
当社製品を安心してご使用いただくために、標準使用期間を超えてのご使用に際しましては、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

各部の名称と機能

外観（紙幣部・硬貨部）



外観（本体部・収納部）

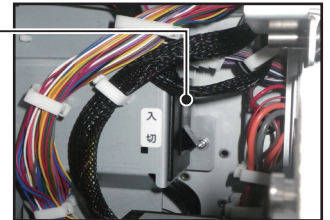


内部（紙幣部・硬貨部）



ブレーカースイッチ

緊急時に装置の電源を切るスイッチです。



注意

危険回避などの緊急時以外は通電中にブレーカースイッチを切らないでください。
データの保証ができなくなります。

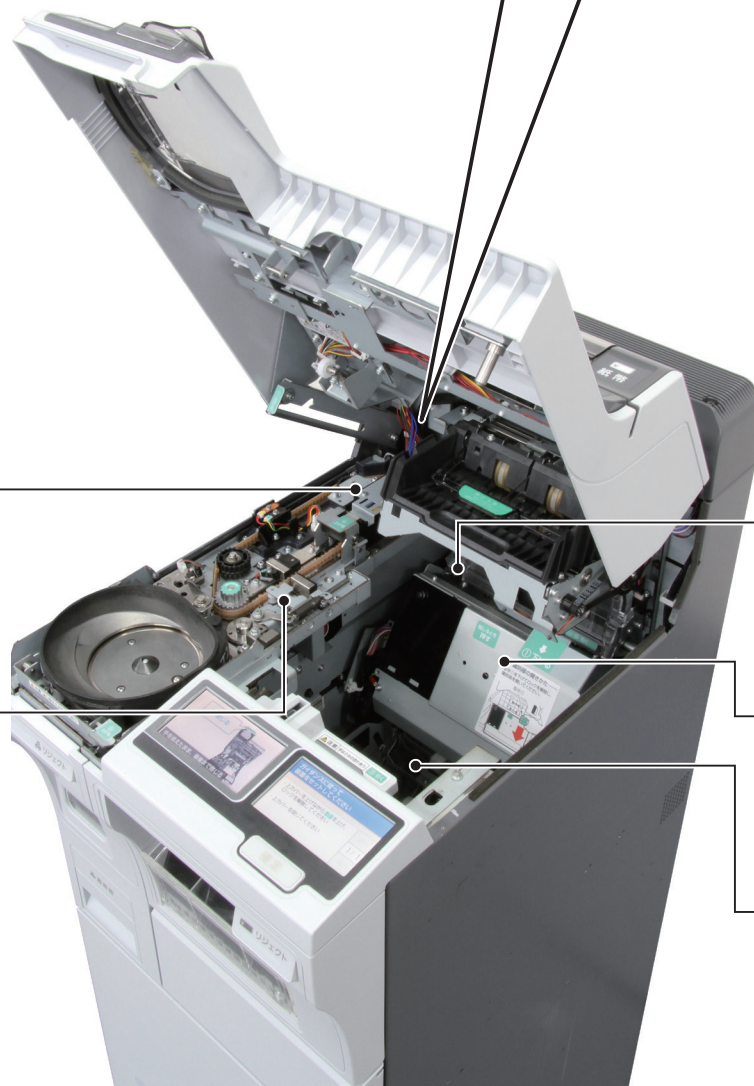
硬貨搬送部
硬貨を搬送する所です。

硬貨識別部
硬貨を識別する所です。

紙幣搬送部 1
紙幣を搬送する所です。

紙幣識別部
紙幣を識別する所です。

紙幣搬送部 2
紙幣を搬送する所です。



表示部

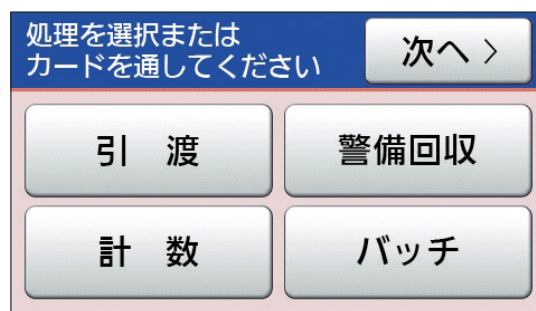
表示部（左画面）

操作ガイダンスアニメーションやエラー解除ガイダンスアニメーション、引渡内容および設定内容などを表示します。この画面は表示のみです。



表示部（右画面）

操作時のボタンやエラー時の解除ガイダンスを表示します。タッチパネルでの操作が可能です。



確定ボタン

処理の確定やエラー時のリセットに使用します。

状態表示ランプ

状態表示ランプで製品の状態をお知らせします。ランプが点灯した場合、該当箇所をよくご確認ください。

■ 状態表示ランプ配置



■ 表示内容一覧

NO.	状態表示ランプ名称	ランプ状態		
		青色点灯	青色点滅	赤色点滅
1	確定ボタンランプ	起動中	確定ボタン押し待ち	エラー発生
2	紙幣投入口ランプ	—	引渡受付可能	繰り出し不良発生
3	紙幣リジェクトランプ	残留あり	リジェクト抜き取り待ち	—
4	硬貨投入口ランプ	—	引渡受付可能	繰り出し不良発生
5	硬貨リジェクトランプ	残留あり	リジェクト抜き取り待ち	—
6	硬貨返却箱ランプ	セット待ち	返却箱抜き取り待ち	—

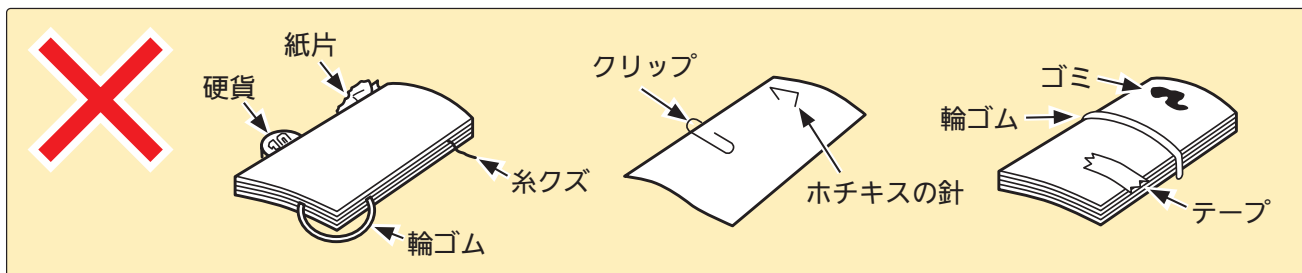
お使いになる前に

使用する紙幣・硬貨について

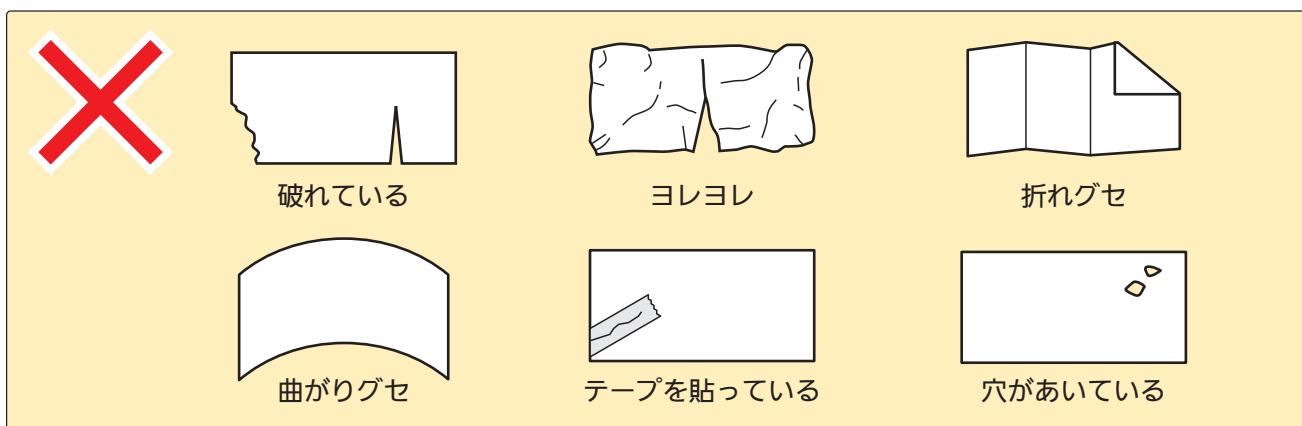
紙幣・硬貨の詰まりを未然に防止するために、次の事項に注意してください。

■ 紙幣の状態について

- 紙幣以外は紙幣投入口から入れないでください。
- 著しく湿っていたり、汚れや汚損のひどい紙幣は避けてください。
- 紙幣に紙片・輪ゴム・硬貨・クリップ・ホチキスの針・ゴミなどが付着、混入していないか確認してください。紙幣詰まり、および故障の原因となります。

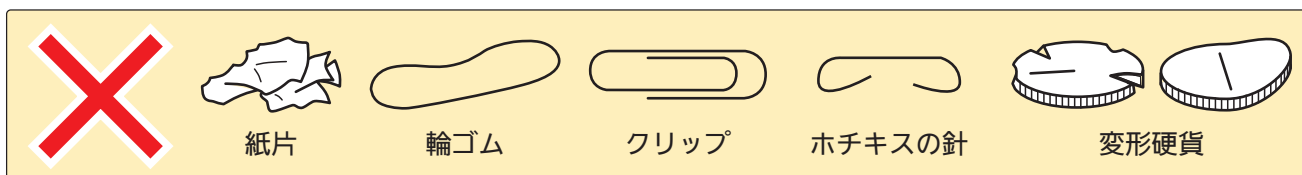


- 紙幣以外は装填しないでください。
また、損傷の激しい紙幣は装填しないでください。折れグセ・曲がりグセのある紙幣は、必ず伸ばしてから使用してください。



■ 硬貨の状態について

- 投入硬貨に紙片・輪ゴム・クリップ・ホチキスの針・ゴミ・ボタン・キズ硬貨・変形硬貨などを混入させて投入しないでください。硬貨詰まり、および故障の原因となります。



- 包装硬貨のまま投入しないでください。

休止モードについて

この製品は、防犯性と省エネを目的として、「休止モード」機能を備えています。

■ 休止モード

- 「閉店／開店スイッチ」を閉店にすると、製品内の電源およびオンライン接続は ON の状態で表示部の LCD を OFF にすることができます。
夜間などで長時間使用しないときは、休止モードをご活用ください。

注意

休止モード中は、引渡処理をはじめ、各処理はできません。

■ 開店モード

- 「閉店／開店スイッチ」を開店にすると、通常の処理ができるモード選択画面に戻ります。



日常の操作

日常の操作

ここでは、日常の操作をまとめています。

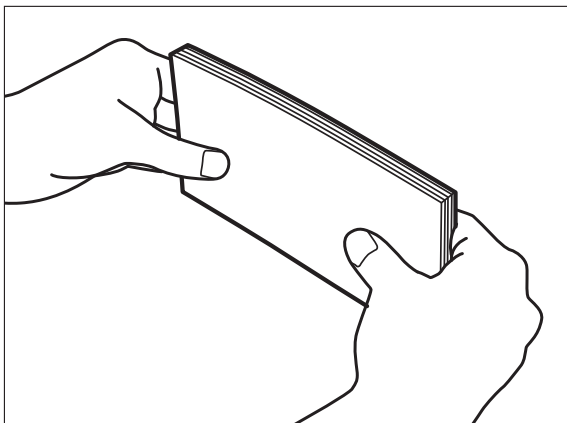
操作手順の詳細については、以下の参照ページで確認してください。

No.	操作	参照
1	「引渡」(通常引渡) 操作のしかた	📖 P.22
2	「金額指定引渡」 操作のしかた	📖 P.25
3	「計数」 操作のしかた ※手元の現金や引渡前の現金などを確認する操作です。	📖 P.29
4	「バッチ」 操作のしかた	📖 P.31
5	「締め」 操作のしかた ※前日の締切から今日の締切までの引渡データを集計する操作です。	📖 P.33
6	「両替金取出」 操作のしかた	📖 P.34
7	再印字のしかた	📖 P.37
8	プリンター用紙の交換のしかた	📖 P.39
9	紙幣部の開閉のしかた	📖 P.42
10	硬貨部の開閉のしかた	📖 P.47

紙幣・硬貨を投入する

紙幣・硬貨を投入するときは、下記の手順に従って操作してください。


1 投入する紙幣をそろえる。



2 紙幣投入口に紙幣をセットする。

カバーを開き、押さえ板を持ち上げながら、そろえた紙幣を奥に軽く押し当て、セットしてください。



- 引渡する紙幣については、「使用する紙幣・硬貨について」 P.17 を参照してください。
汚損のひどい紙幣は引渡できません。
- 紙幣は約 300 枚までセットできます。
- 300 枚以上引渡するときは、数回に分けてセットしてください。

3

カバーを開き、硬貨を硬貨投入口に投入する。

硬貨投入後、カバーを閉じてください。



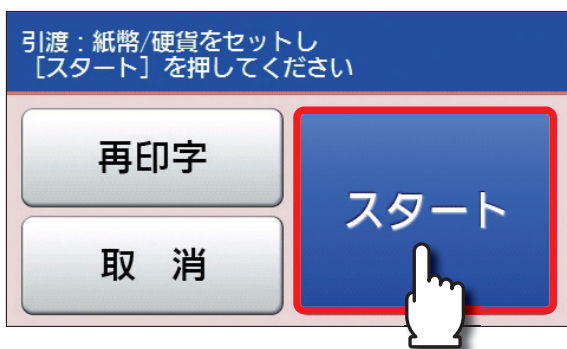
- 引渡する硬貨については、「使用する紙幣・硬貨について」
P.17 を参照してください。
- 硬貨は約 300 枚まで投入できます。
- 300 枚以上引渡するときは、数回に分けて投入してください。

4

[スタート] を押す。

取引終了後、紙幣投入口のカバーを閉じてください。

画面例 (引渡)



「引渡」(通常引渡) 操作のしかた

下記の手順に従って「引渡」操作を行ってください。

1

「引渡」を押す。

該当するモードが画面にない場合は、「次へ」を押してください。



注意

- 硬貨カセット内に両替金がある状態では、引渡処理を行えません。両替金の取り出しかたについては、P.34を参照してください。
- 通帳への印字を行う場合は、通帳プリンターに通帳をセットしてください。

2

磁気カード挿入口に ID カードを通す。または、該当の処理ボタンを押す。

磁気カードの磁気部を下側にして、磁気カード挿入口の溝の左側に差し込み、溝に沿って磁気カードを右に移動させてください。

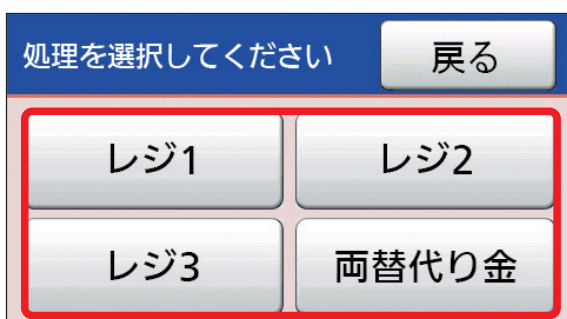


注意

引渡権限を持つカード以外は受け付けません。

■ ICカードを使用する場合は？

紙幣投入口の左側にある IC カードリーダーに IC カードをかざしてください。



3

紙幣・硬貨を各投入口にセットし、[スタート]を押す。(□□P.20)

計数が開始され、画面に計数金額が表示されます。

注意

紙幣はよくそろえてからセットしてください。紙幣・硬貨に異物が混入していないか確認してください。

■ 追加計数がある場合は？

追加引渡またはリジェクト現金をセットし、[スタート]を押してください。
再度、計数を開始します。

4

-1 引渡確定の場合 (カセットへ収納)

金額を確認し、確定ボタンを押す。

確定した現金は取り出すことができません。収納動作後、引渡レシートが印字されます。
レシート印字後、モード選択画面に戻ります。



-2 自動収納の場合

計数した現金で紙幣一時保留部および硬貨一時保留部が満杯になった場合は、計数を中断し、自動で収納を行います。
収納動作後、引き続き引渡処理ができます。

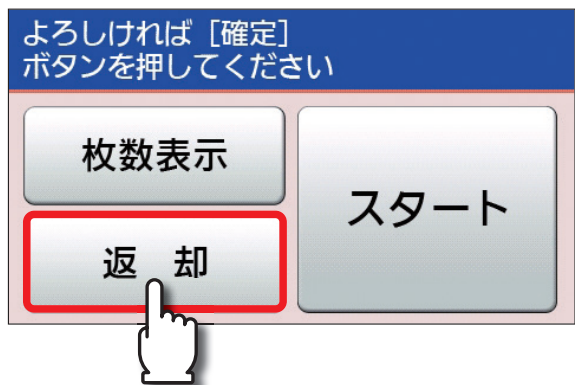
確定する場合は確定ボタンを押してください。

- カセットに自動収納された現金は、手順4-3の返却ができませんので注意してください。
※自動収納の設定は変更可能です。
- 自動収納後に計数した現金は、カセットに自動収納されない限り返却が可能です。
引渡確定する場合は、手順4-1に従って操作してください。
返却する場合は、手順4-3に従って操作し、現金を取り出した後に確定ボタンを押してください。

-3 返却(取消)の場合

[返却] を押す。

1. 画面に計数金額、返却金額が表示された後に紙幣返却扉が開き、硬貨返却箱ランプが点滅します。



2. 返却された現金を取り出してください。



3. 紙幣返却扉を閉じ、硬貨返却箱を元の位置に戻してください。

自動収納を行っていた場合は、引き続き引渡を行うか、確定ボタンを押し、引渡を終了してください。それ以外の場合は、モード選択画面に戻ります。



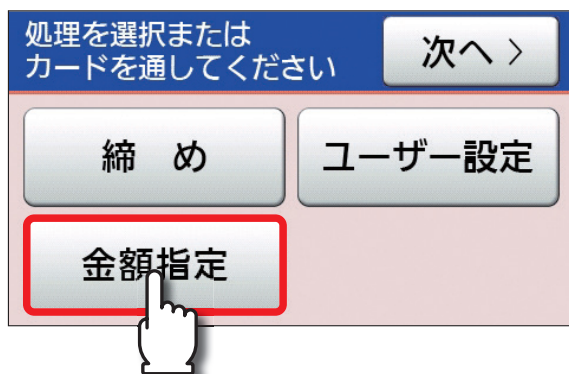
「金額指定引渡」操作のしかた

下記の手順に従って「金額指定引渡」操作を行ってください。

1

【金額指定】を押す。

該当するモードが画面にない場合は、[次へ]を押してください。



注意

- 硬貨カセット内に両替金がある状態では、引渡処理を行えません。両替金の取り出しかたについては、P.34を参照してください。
- 通帳への印字を行う場合は、通帳プリンターに通帳をセットしてください。

2

磁気カード挿入口にIDカードを通す。または、該当の処理ボタンを押す。

磁気カードの磁気部を下側にして、磁気カード挿入口の溝の左側に差し込み、溝に沿って磁気カードを右に移動させてください。

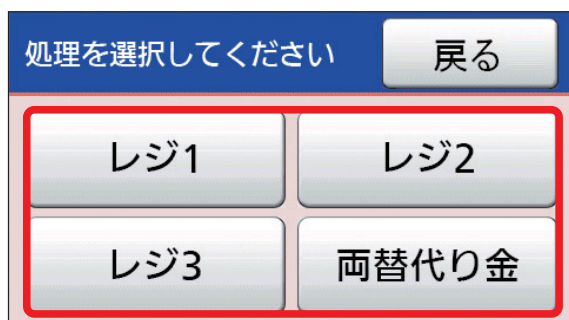


注意

引渡権限を持つカード以外は受け付けません。

■ ICカードを使用する場合は？

紙幣投入口の左側にあるICカードリーダーにICカードをかざしてください。



3

紙幣・硬貨を各投入口にセットする。( P.20)

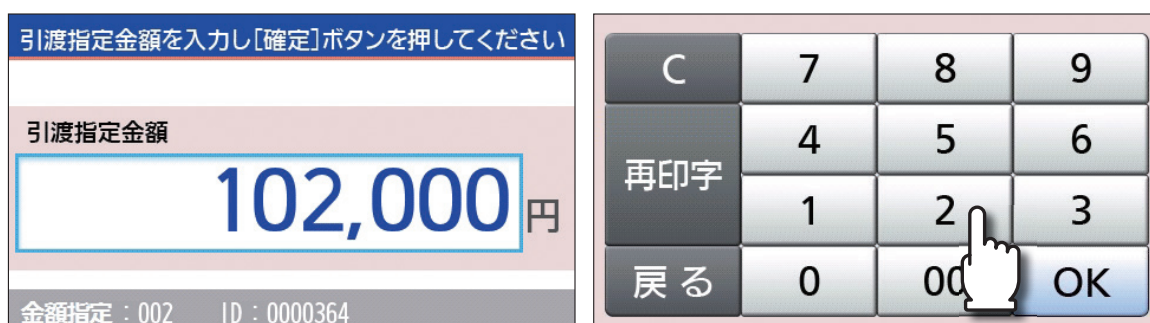
注意

紙幣はよくそろえてからセットしてください。紙幣・硬貨に異物が混入していないか確認してください。

4

引渡金額を入力し、[OK] を押す。

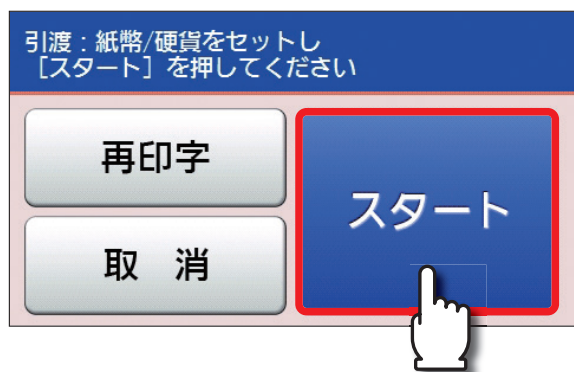
金額入力画面が表示されるので、テンキーをタッチし、引渡金額を入力してください。



5

[スタート] を押す。

計数が開始され、画面に計数金額が表示されます。



■ 引渡金額に満たない場合は？

リジェクトされた現金、追加投入する現金を再度投入口にセットし、計数してください。それでも満たない場合は、引渡金額を確認し、入力に間違いがないか確認してください。

引渡金額を修正する場合は、[返却] を押し、手順 1 からもう一度操作してください。(ただし、自動収納された分の修正を行うことはできません。)

※このときレシートの記載内容は、製品が実際に引渡処理をした金額が記載されます。入力された引渡金額とは異なりますのでご注意ください。

6

-1 引渡確定の場合（カセットへ収納）

金額を確認し、確定ボタンを押す。

確定した現金は取り出すことができません。収納動作後、引渡レシートが印字されます。レシート印字後、モード選択画面に戻ります。



注意

引渡金額（入力金額）より投入金額が多い場合は、リジェクトされます。

-2 自動収納の場合

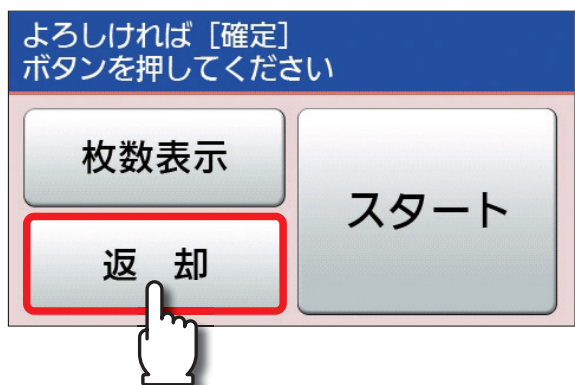
計数した現金で紙幣一時保留部および硬貨一時保留部が満杯になった場合は、計数を中断し、自動で収納を行います。収納動作後、引き続き引渡処理ができます。確定する場合は確定ボタンを押してください。

- カセットに自動収納された現金は、手順 6-3 の返却ができませんので注意してください。
※自動収納の設定は変更可能です。
- 自動収納後に計数した現金は、カセットに自動収納されない限り返却が可能です。
引渡確定する場合は、手順6-1に従って操作してください。
返却する場合は、手順6-3に従って操作し、現金を取り出した後に確定ボタンを押してください。

-3 返却（取消）の場合

[返却] を押す。

1. 画面に計数金額、返却金額が表示された後に紙幣返却扉が開き、硬貨返却箱ランプが点滅します。



2. 返却された現金を取り出してください。



3. 紙幣返却扉を閉じ、硬貨返却箱を元の位置に戻してください。

自動収納を行っていた場合は、引き続き引渡を行うか、確定ボタンを押し、引渡を終了してください。それ以外の場合は、モード選択画面に戻ります。



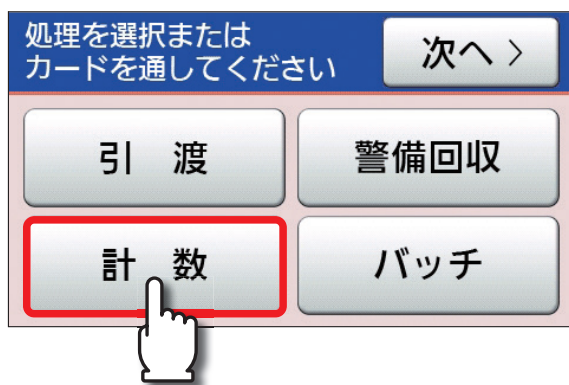
「計数」操作のしかた

下記の手順に従って「計数」操作を行ってください。

1

【計数】を押す。

該当するモードが画面にない場合は、【次へ】を押してください。



2

磁気カード挿入口に ID カードを通す。

磁気カードの磁気部を下側にして、磁気カード挿入口の溝の左側に差し込み、溝に沿って磁気カードを右に移動させてください。



注意

- ・計数権限を持つカード以外は受け付けません。
- ・設定によって、手順2なしで、手順3に進みます。

■ ICカードを使用する場合は？

紙幣投入口の左側にある IC カードリーダーに IC カードをかざしてください。



3

紙幣・硬貨を各投入口にセットし、【スタート】を押す。(□ P.20)

計数が開始され、画面に計数金額が表示されます。

注意

紙幣はよくそろえてからセットしてください。紙幣・硬貨に異物が混入していないか確認してください。

4

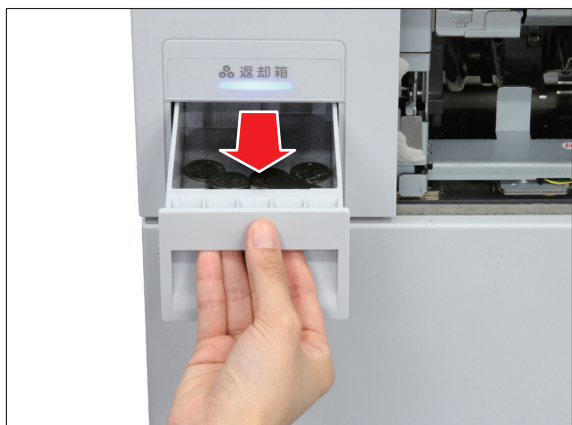
返却された現金を取り出す。

1. 各投入口にセットした現金がなくなると、紙幣返却扉が開き、硬貨返却箱ランプが点滅します。



- 計数中に紙幣一時保留部が満杯になった場合も、紙幣返却扉が開きます。紙幣を取り出し、紙幣返却扉を閉じると、計数が再開されます。
- 計数中に硬貨一時保留部が満杯になった場合も、硬貨返却箱ランプが点滅します。硬貨を取り出し、硬貨返却箱を元の位置に戻すと、計数が再開されます。

2. 返却された現金を取り出してください。



3. 紙幣返却扉を閉じ、硬貨返却箱を元の位置に戻してください。

引き続き計数処理を行う場合は、手順3から操作してください。終了する場合は、金額を確認後、確定ボタンを押してください。確定ボタンを押すと、計数レシートが印字され、モード選択画面に戻ります。



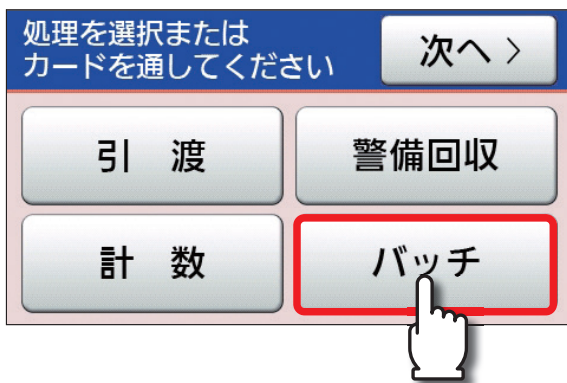
「バッチ」操作のしかた

下記の手順に従って「バッチ」操作を行ってください。

1

「バッチ」を押す。

該当するモードが画面にない場合は、「次へ」を押してください。



2

磁気カード挿入口に ID カードを通す。

磁気カードの磁気部を下側にして、磁気カード挿入口の溝の左側に差し込み、溝に沿って磁気カードを右に移動させてください。



注意

- バッチ権限を持つカード以外は受け付けません。
- 設定によって、手順 2 なしで、手順 3 に進みます。

■ ICカードを使用する場合は？

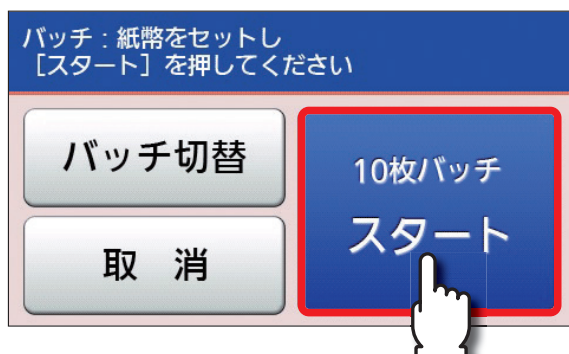
紙幣投入口の左側にある IC カードリーダーに IC カードをかざしてください。



3

紙幣を紙幣投入口にセットし、[スタート] を押す。(□□P.20)

計数が開始され、最初に計数された金種のバッチ枚数と合計金額が画面に表示されます。計数された紙幣は紙幣リジェクト口に集積され、バッチ枚数になると計数が停止します。最初に計数された金種以外の紙幣は、異金種として扱われ、紙幣一時保留部に集積されます。



- [バッチ切替] を押すと、10枚バッチと20枚バッチの切り替えができます。
- 紙幣は約300枚までセットできます。300枚以上計数するときは、数回に分けてセットしてください。

注意

紙幣はよくそろえてからセットしてください。紙幣に異物が混入していないか確認してください。

4

紙幣を取り出す。

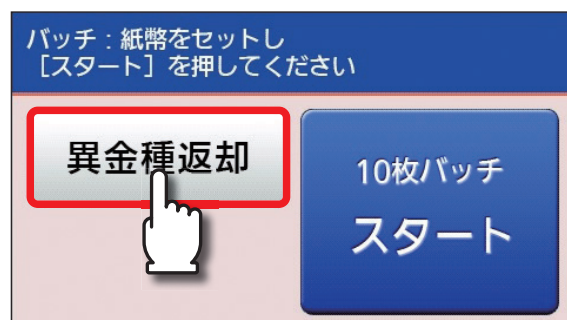
紙幣リジェクト口の紙幣を取り出してください。

■ 引き続き、計数する場合は？

紙幣投入口に紙幣をセット後、[スタート] を押してください。

■ 異金種紙幣、リジェクト紙幣がある場合は？

[異金種返却] を押し、紙幣一時保留部の紙幣を取り出してください。



5

計数終了後、金種、バッチ回数などを確認し、確定ボタンを押す。

「バッチ」操作が終了しました。計数レシートが印字され、モード選択画面に戻ります。

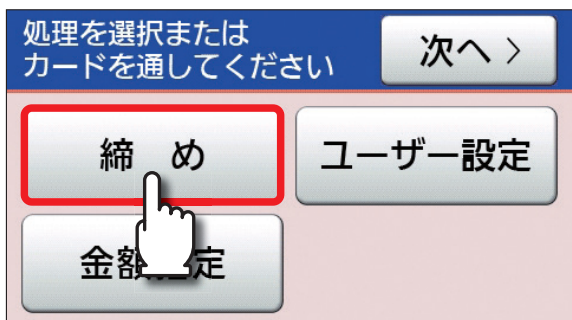
「締め」操作のしかた

下記の手順に従って「締め」操作を行ってください。

1

【締め】を押す。

該当するモードが画面にない場合は、【次へ】を押してください。



注意

通帳への印字を行う場合は、通帳プリンターに通帳をセットしてください。

2

磁気カード挿入口に ID カードを通す。

磁気カードの磁気部を下側にして、磁気カード挿入口の溝の左側に差し込み、溝に沿って磁気カードを右に移動させてください。



注意

- ・締め権限を持つカード以外は受け付けません。
- ・設定によって、手順 2 なしで、手順 3 に進みます。

■ ICカードを使用する場合は？

紙幣投入口の左側にある IC カードリーダーに IC カードをかざしてください。



3

確定ボタンを押す。

締めレシートの印字後、モード選択画面に戻ります。



「両替金取出」操作のしかた

下記の手順に従って「両替金取出」操作を行ってください。

1

「両替金取出」を押す。

該当するモードが画面にない場合は、「次へ」を押してください。



注意

硬貨カセット内に両替金がある状態でのみ行えます。

2

磁気カード挿入口に ID カードを通す。

磁気カードの磁気部を下側にして、磁気カード挿入口の溝の左側に差し込み、溝に沿って磁気カードを右に移動させてください。



注意

両替金取出権限を持つカード以外は受け付けません。

■ ICカードを使用する場合は？

紙幣投入口の左側にある IC カードリーダーに IC カードをかざしてください。



3

確定ボタンを押す。



4

取手を右に回す。

取手を回すと収納部が少し前に飛び出します。

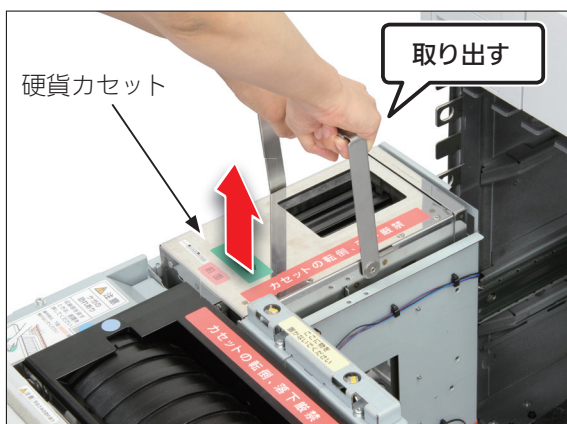


⚠ 注意

収納部が飛び出すときに、体が当たらないよう注意してください。
ケガをする恐れがあります。

5

収納部を引き出し、硬貨カセットを取り出す。



⚠ 注意

収納部は、必ず最後まで引き出してください。
最後まで引き出していない状態で硬貨カセットの出し入れを行うとケガをしたり、製品を損傷したりする恐れがあります。

《厚生労働省》

「職場における腰痛予防対策指針」に基づく情報提供

硬貨カセット質量：26kg（最大枚数収納時）

6

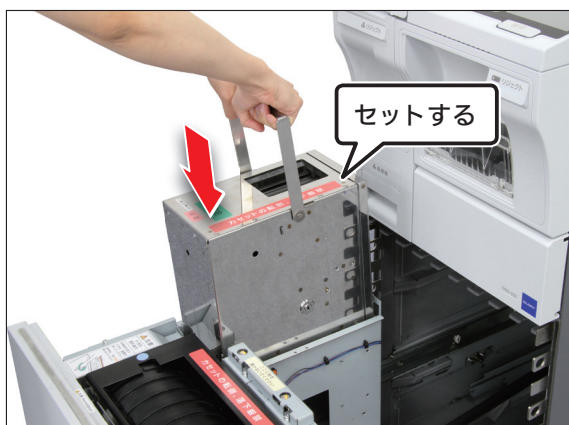
両替金を取り出す。

硬貨カセットの鍵でカセットの扉を開き、両替金を取り出してください。



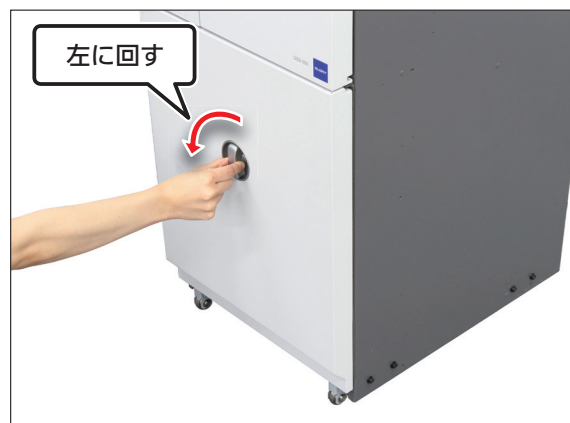
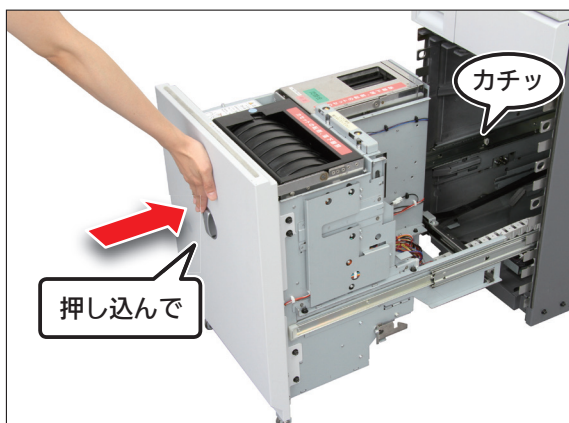
7

空の硬貨カセットを収納部にセットする。
硬貨カセットの扉を閉じ、元の位置に戻してください。



8

収納部を押し込み、取手を左に回す。
「カチッ」と音がし、ロックが確実にかかるまで押し込んでください。
硬貨カセットの残留検知動作が行われ、残留がなければ、モード選択画面に戻ります。



⚠ 注意

収納部を押し込むときは、必ず収納部前面を
押してください。
他の所を持つと、手をはさみケガをする恐れがあり
ます。



注意

残留が発生した場合は、硬貨カセットをもう一度取り出し、中を確認してください。

再印字のしかた

下記の手順に従って再印字を行ってください。

1

再印字の必要な処理モードを選択する。
該当するモードが画面にない場合は、[次へ]を押してください。



●ここでは、例として [引渡] を選択しています。

2

磁気カード挿入口に ID カードを通す。または、該当の処理ボタンを押す。
磁気カードの磁気部を下側にして、磁気カード挿入口の溝の左側に差し込み、溝に沿って磁気カードを右に移動させてください。

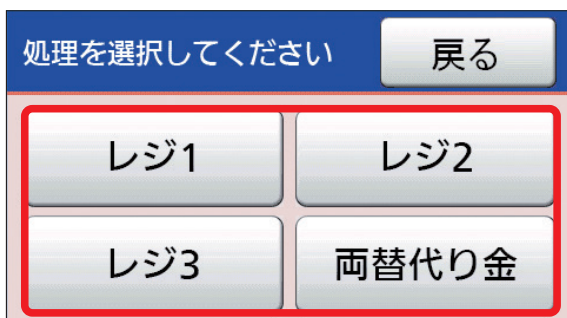


注意

再印字の必要な処理モードの権限を持つカードを使用してください。

■ ICカードを使用する場合は？

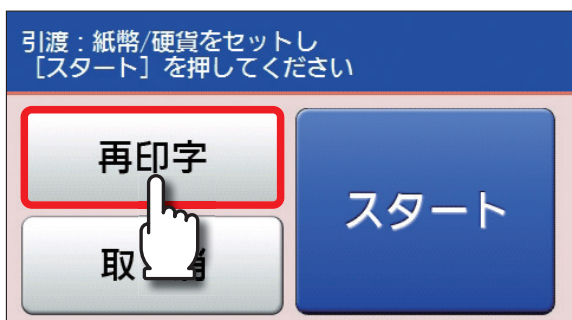
紙幣投入口の左側にある IC カードリーダーに IC カードをかざしてください。



3

〔再印字〕を押す。

前回行われた処理のレシートが再印字された後、モード選択画面に戻ります。



- 再印字されたレシートには、右上に「コピー」と印字されます。
また、引渡処理（または金額指定引渡処理）を再印字する場合は、「引渡処理」「金額指定引渡処理」のうち、直前に行った処理のデータが再印字されます。

プリンター用紙の交換のしかた

プリンター用紙の両端に赤い帯が現れると、プリンター用紙が残り少なくなっています。赤い帯が現れたときは、下記の手順に従ってプリンター用紙を交換してください。

プリンター用紙に赤い帯が出てくると交換のサインです。



1 プリンターカバーのツメをつまみ、開く。



2 プリンター用紙を取り除く。

1. ボタン（緑）を押し、ロックを解除してください。



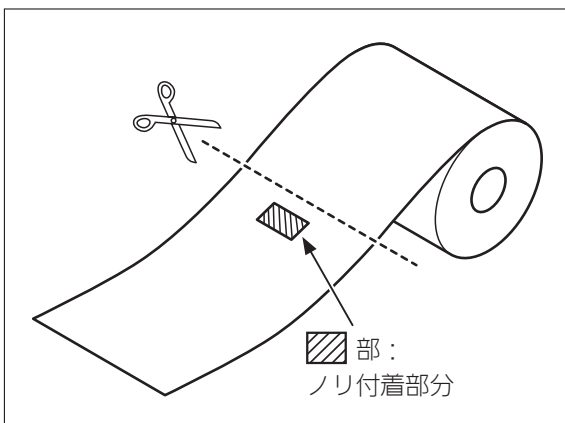
2. レバーを上げ、プリンター用紙を取り除いてください。



3

新しいプリンター用紙を準備する。

新しいプリンター用紙の巻き止めをはがし、ノリ付着部分を含む先端をハサミでカットしてください。



注意

ノリ付着部分が残っていると、用紙詰まりの原因になることがあります。

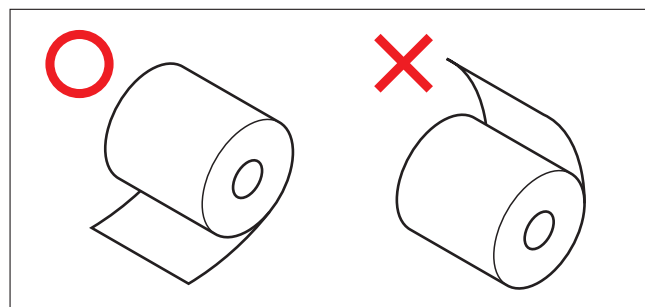
4

新しいプリンター用紙をセットする。



注意

プリンター用紙の巻き方向に注意してセットしてください。



5

レバーを閉じる。

プリンター用紙の先端を2～3cm出した状態で、「カチッ」と音がするまで、確実に閉じてください。



6

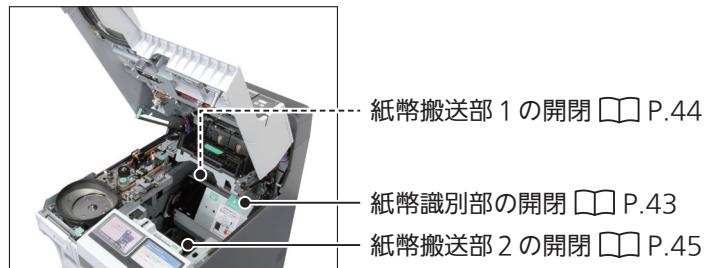
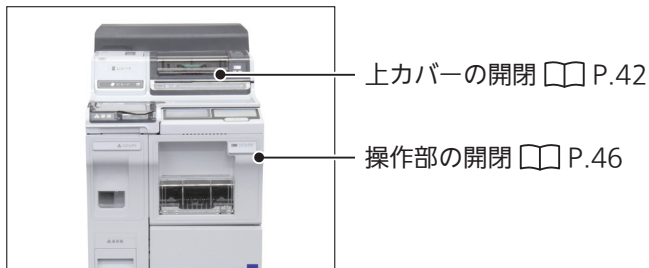
プリンターカバーを閉じる。

閉じた後、プリンター用紙の余分な部分を切り取ってください。



紙幣部の開閉のしかた

下記の手順に従って紙幣部内の各部を開閉してください。



上カバーの開閉

繰出不良発生時やエラー解除時、清掃時は、下記の手順に従って開閉してください。

■ 開きかた

上カバー取手を持ち、ロックがかかる位置まで持ち上げる。

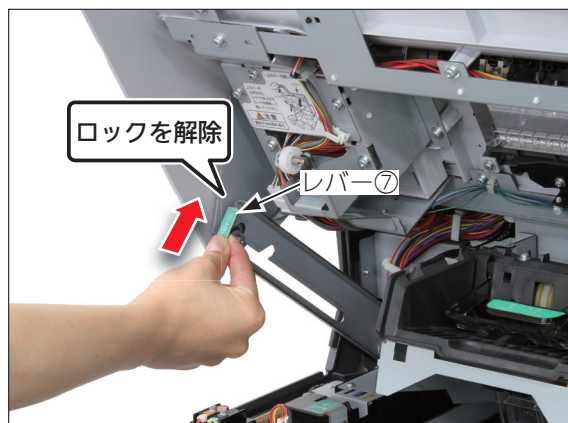
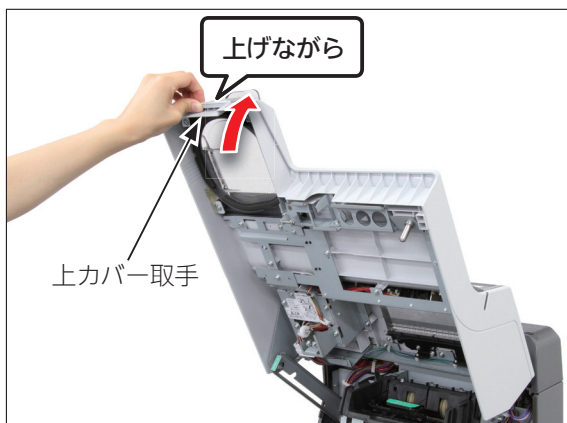


⚠ 注意

- ロックが確実にかかる位置まで持ち上げてください。
ロックがかかっていないと指をはさみ、ケガをする恐れがあります。
- 引渡や計数処理中に上カバーを開くことはできません。
無理に開くと破損する恐れがあります。

■ 閉じかた

上カバーを上げながら、レバー⑦を上げてロックを解除し、上カバーを閉じる。
確実に閉じてください。



紙幣識別部の開閉

エラー解除時や清掃時は、下記の手順に従って開閉してください。

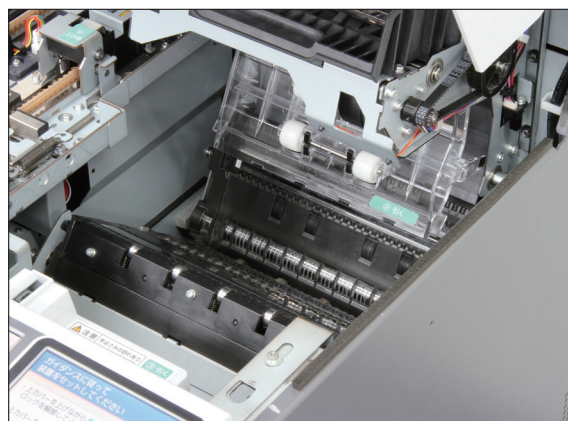
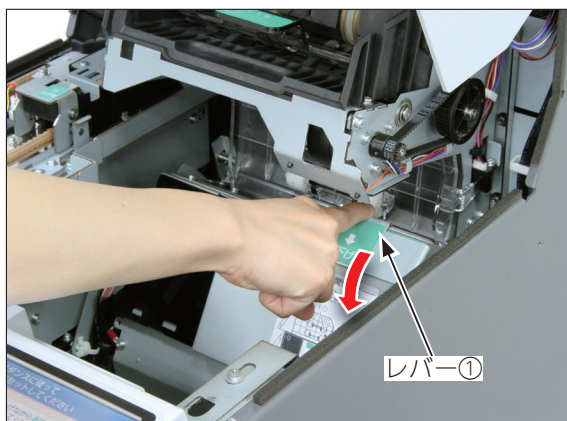
1

■ 開きかた

上カバーを開く。( P.42)

2

レバー①を矢印方向に下げる。



■ 閉じかた

識別部を元の状態に戻す。

「カチッ」と音がし、ロックが確実にかかるまで押してください。



紙幣搬送部 1 の開閉

エラー解除時や清掃時は、下記の手順に従って開閉してください。

1

■ 開きかた

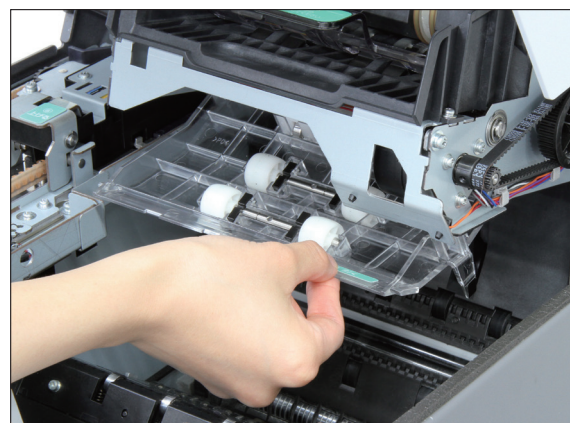
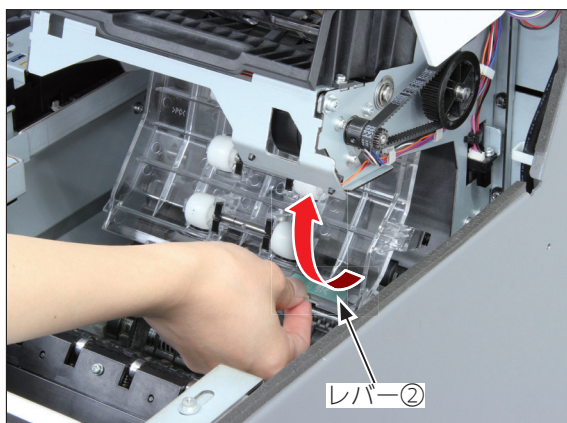
上カバーを開く。( P.42)

2

紙幣識別部を開く。( P.43)

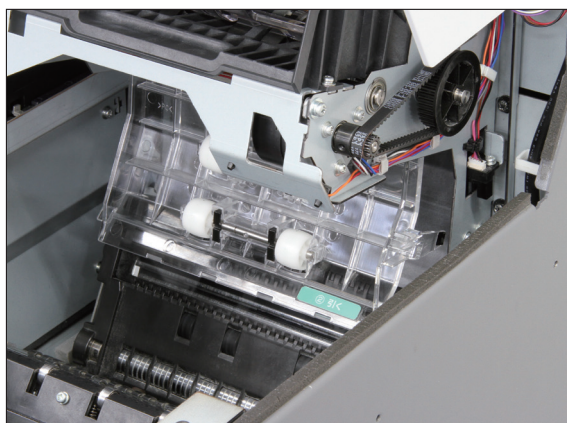
3

レバー②を矢印方向に引く。



■ 閉じかた

手を放すと元の状態に戻ります。



紙幣搬送部 2 の開閉

エラー解除時や清掃時は、下記の手順に従って開閉してください。

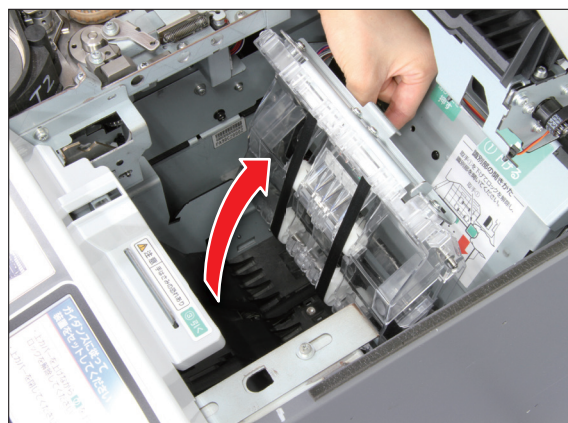
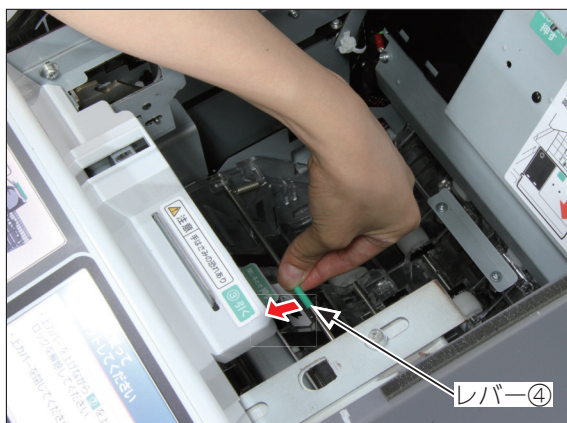
1

■ 開きかた

上カバーを開く。(P.42)

2

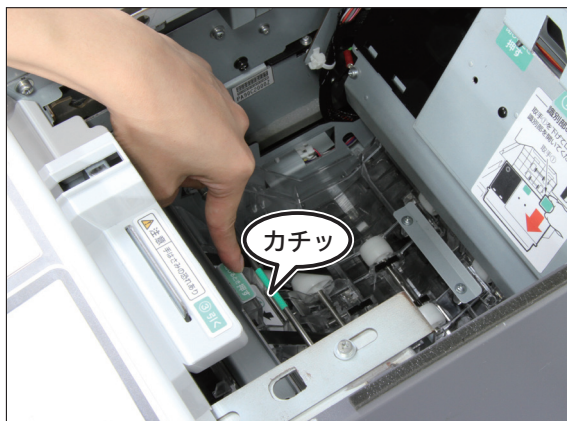
レバー④を引いてロックを解除しながら矢印方向に持ち上げる。



■ 閉じかた

紙幣搬送部 2 を元の状態に戻す。

「カチッ」と音がし、ロックが確実にかかるまで押してください。



操作部の開閉

紙幣部内の紙幣などが取り出しにくい場合は、下記の手順に従って開閉してください。

1

■ 開きかた

上カバーを開く。(P.42)

2

レバー③を矢印方向に引く。



■ 閉じかた

操作部を元の状態に戻す。

手を放すと自動で閉じます。



⚠ 注意

操作部を閉じるときに指などはさまないよう注意してください。
ケガをする恐れがあります。

硬貨部の開閉のしかた

下記の手順に従って硬貨部内の各部を開閉してください。



硬貨搬送部の開閉 P.49

硬貨投入口の開閉 P.47

硬貨投入口の開閉

繰出不良発生時やエラー解除時、清掃時は、下記の手順に従って開閉してください。

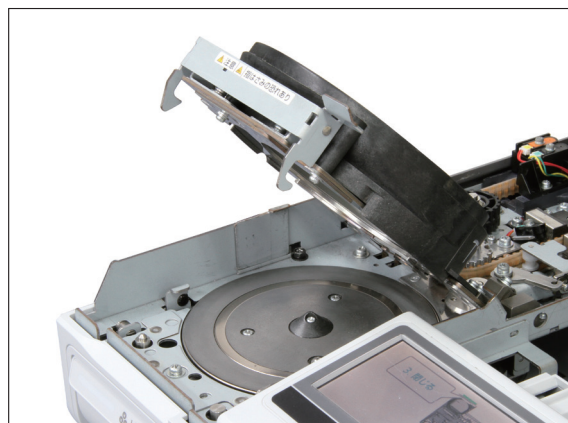
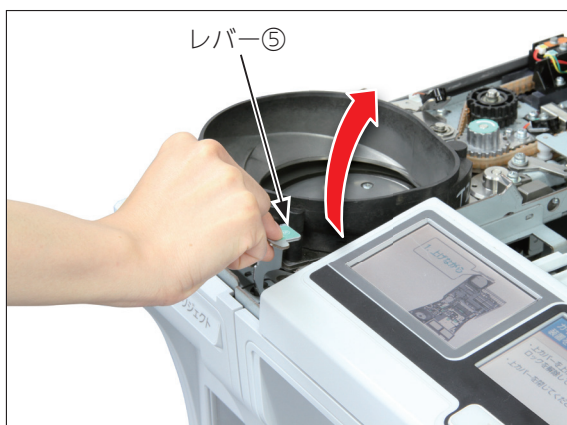
1

■ 開きかた

上カバーを開く。(P.42)

2

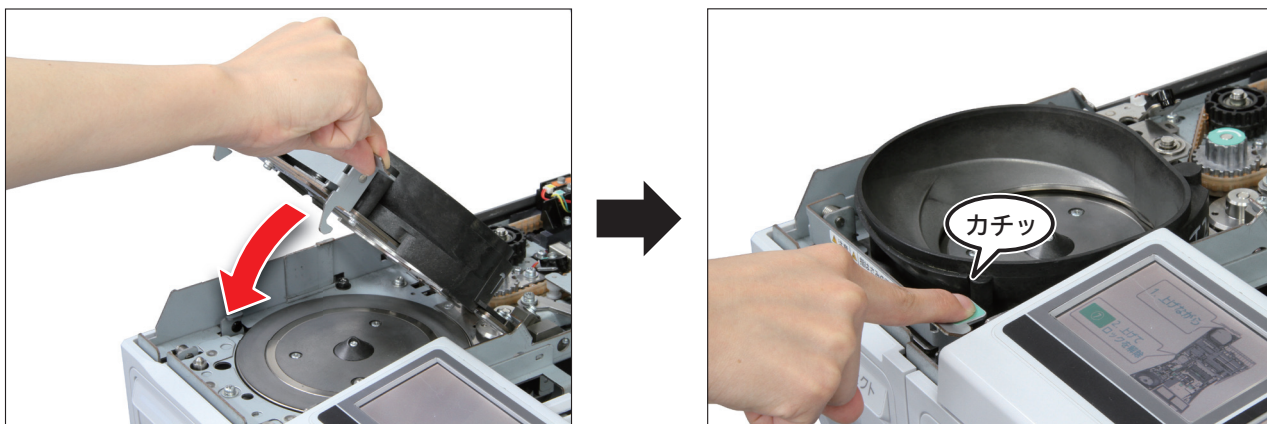
レバー⑤を矢印方向に上げる。



■ 閉じかた

硬貨投入口を元の状態に戻す。

レバー⑤を「カチッ」と音がし、ロックが確実にかかるまで押してください。



硬貨搬送部の開閉

線出不良発生時やエラー解除時、清掃時は、下記の手順に従って開閉してください。

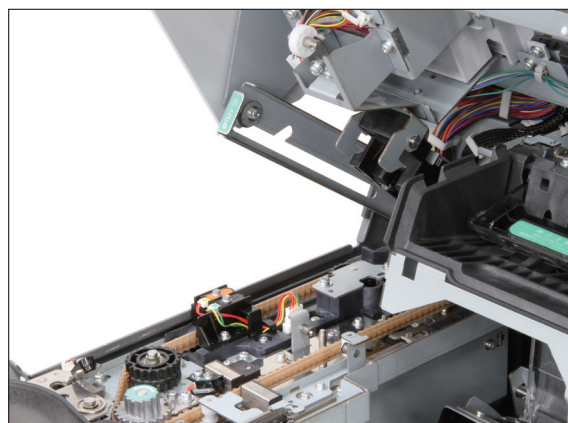
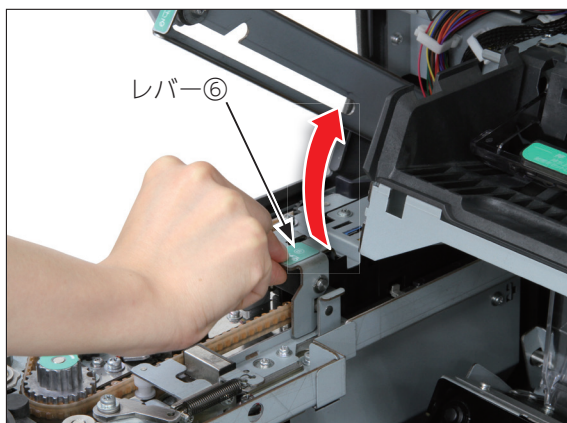
1

■ 開きかた

上カバーを開く。( P.42)

2

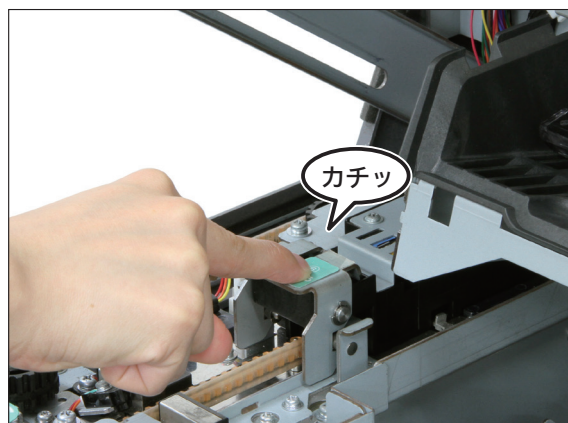
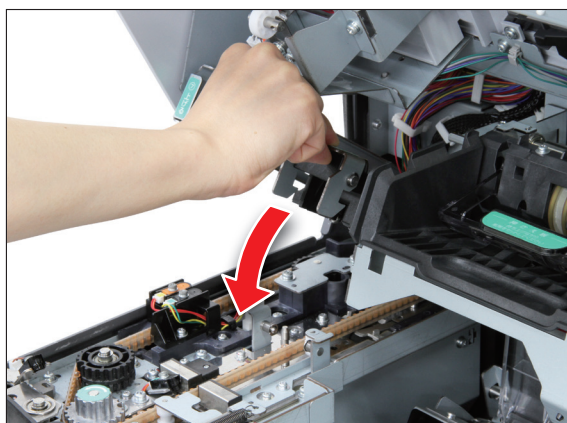
レバー⑥を矢印方向に持ち上げる。



■ 閉じかた

硬貨搬送部を元の状態に戻す。

「カチッ」と音がし、ロックが確実にかかるまで押してください。



困ったときは

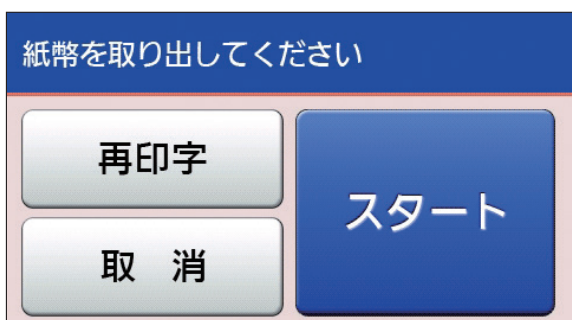
ここでは、日常の操作で困ったことがあった場合の対処方法について記載しています。

画面に「〇〇を取り出してください」と表示されたときは

画面に「紙幣を取り出してください」または、「硬貨を取り出してください」と表示され、紙幣投入口ランプ・硬貨投入口ランプが赤色に点滅したときは、紙幣投入口・硬貨投入口に紙幣・硬貨や異物が詰まっていないか確認する必要があります。下記の手順に従って確認してください。

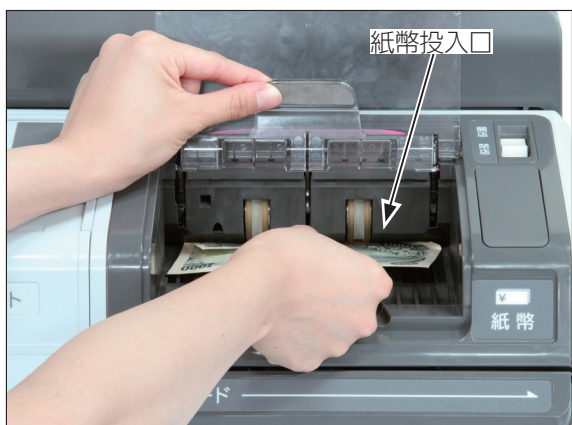
紙幣投入口を確認する

画面に「紙幣を取り出してください」と表示され、紙幣投入口ランプが赤色点滅したときは、下記の手順に従って紙幣投入口の確認を行ってください。



1

紙幣投入口に紙幣がある場合は、すべて取り除く。



2

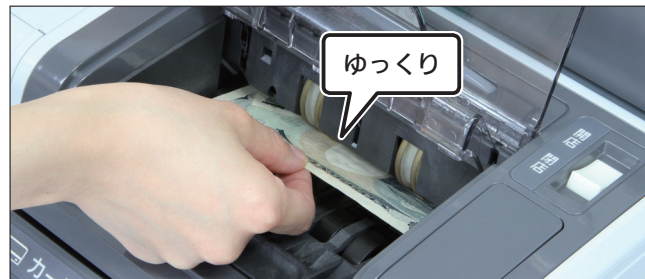
紙幣投入口の内部を確認する。

下図赤枠部に紙幣や異物があれば、取り除いてください。



注意

ローラーの間にはさまっている紙幣は、手でつかんでゆっくりと引き抜いてください。



3

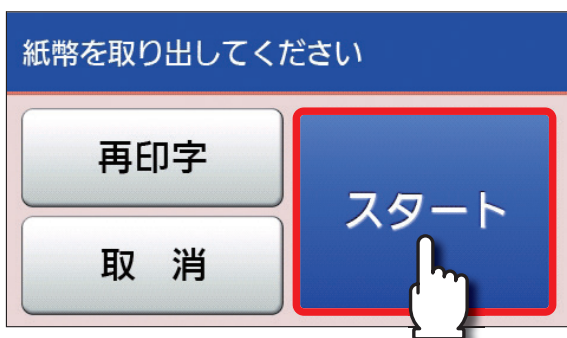
取り除いた紙幣をセットする。



4

〔スタート〕を押す。

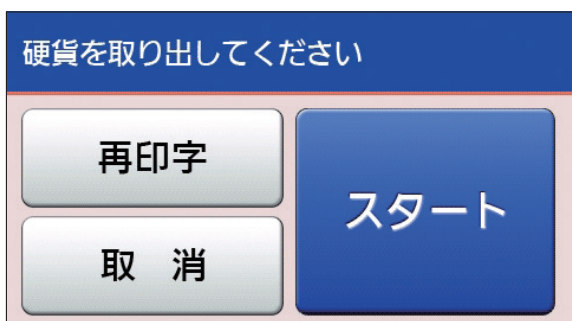
再計数が始まります。



- 引渡する紙幣については、「使用する紙幣・硬貨について」
□□ P.17 を参照してください。
汚損のひどい紙幣は引渡できません。

硬貨投入口を確認する

画面に「硬貨を取り出してください」と表示され、硬貨投入口ランプが赤色点滅したときは、下記の手順に従って硬貨投入口の確認を行ってください。



1 硬貨投入口のカバーを開く。



2 硬貨投入口に硬貨がある場合は、すべて取り除く。

取り除ける範囲の硬貨はすべて取り除いてください。



3

硬貨投入口の内部を確認する。

下図赤枠部に硬貨や異物があれば、取り除いてください。



4

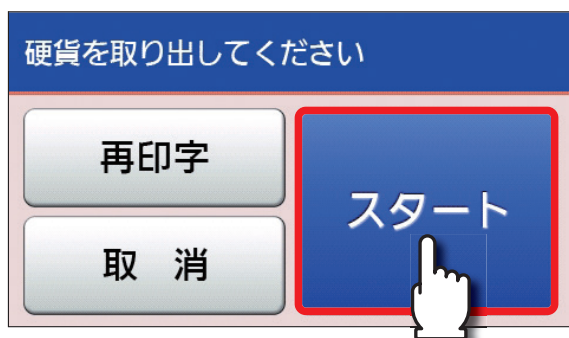
取り除いた硬貨をセットする。



5

〔スタート〕を押す。

再計数が始まります。



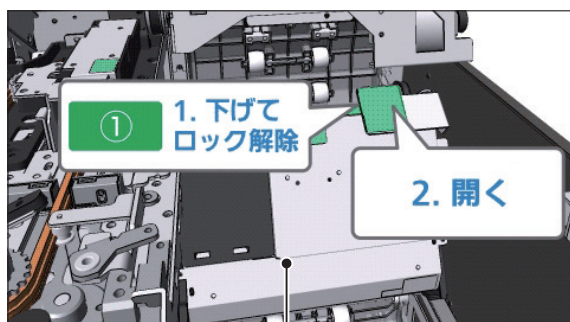
- 引渡する硬貨については、「使用する紙幣・硬貨について」
□□ P.17 を参照してください。
汚損のひどい硬貨は引渡できません。

エラーが発生したときは

エラーが発生したときは、表示部にエラーコードとメッセージが表示されます。
 エラー解除をするときは、画面に表示される手順に従って操作してください。
 エラーの発生場所は、表示部のアニメーション表示から確認できます。

注意

エラー解除が困難なときや停電などで装置が操作できないときは、管理者または当社販売店・当社指定の取扱店にご連絡ください。そのとき、画面にエラーコードが表示されている場合は、エラーコードを控えて担当者にお伝えください。



エラー名称	エラーコード
紙幣部エラー	E3-6333
紙幣 湧出し2 VP3	
<ul style="list-style-type: none"> ① を引いて識別部を開いてください 	
前へ	
2/5	
次へ	

エラー解除アニメーション

エラー解除を行う場合のアニメーションが表示されます。
 エラー解除の手順がアニメーションで表示されますので、開閉場所などを確認してください。

エラー解除手順の説明

エラー解除を行う場合の手順が表示されます。
 手順を進めていくと、自動で表示が切り替わります。
 [前へ]、[次へ] を押すと、前の手順および次の手順を確認できます。

エラー発生時の対処のしかた

エラーが発生したときの大まかな流れを記載しています。

エラー解除をするときは、画面に表示される手順に従って操作してください。

下記の解除の流れに当てはまらないエラーの場合は、画面に表示される手順に従って操作してください。

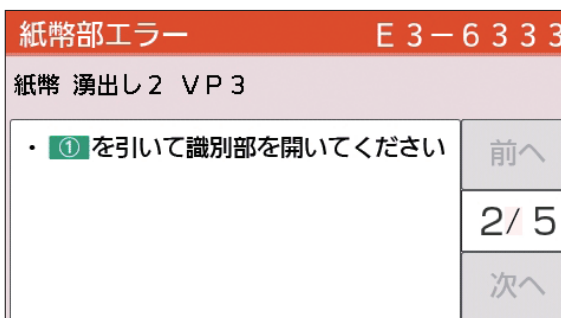
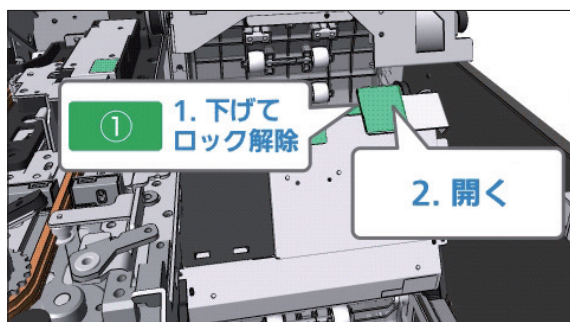
紙幣部でエラーが発生したときは

- 1** 紙幣投入口に紙幣がある場合は、すべて取り除く。



- 2** 上カバーを開く。( P.42)

- 3** 残留している紙幣を取り除く。
画面のアニメーション・手順に従って操作してください。



4

紙幣部を元の状態に戻す。

紙幣部各部の閉じかたは、 P.42 ~を参照してください。

5

確定ボタンを押す。

リセット処理後、問題がなければモード選択画面に戻ります。



- 機内に紙幣が残留していた場合は、リセット処理時に返却されます。

硬貨部でエラーが発生したときは

1 硬貨投入口のカバーを開く。



2 硬貨投入口に硬貨がある場合は、すべて取り除く。
取り除ける範囲の硬貨はすべて取り除いてください。



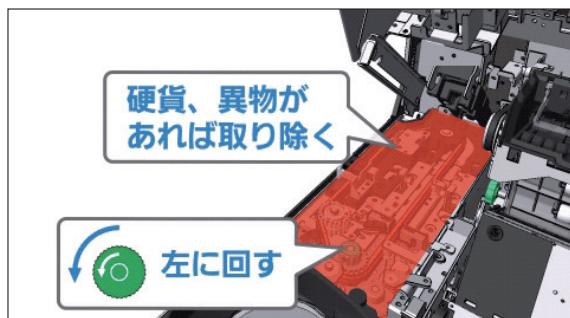
3 上カバーを開く。( P.42)

4

残留している硬貨を取り除く。

画面のアニメーション・手順に従って操作してください。

硬貨が取り除きにくい場合は、装置内部に付属しているピンセットをご使用ください。



硬貨部エラー E3-7205	
硬貨 湧出し1 CPS 5	
<ul style="list-style-type: none"> ⑤ を引いて硬貨投入口を開き、点滅箇所を確認後、閉じてください ⑥ を引いて搬送部を開き、点滅箇所を確認後、閉じてください 上カバーを上げながら⑦ を上げてロックを解除し、上カバーを閉じてください 	前へ 2/3 次へ

5

硬貨部を元の状態に戻す。

硬貨部各部の閉じかたは、[P.47](#) ～を参照してください。

6

確定ボタンを押す。

リセット処理後、問題がなければモード選択画面に戻ります。



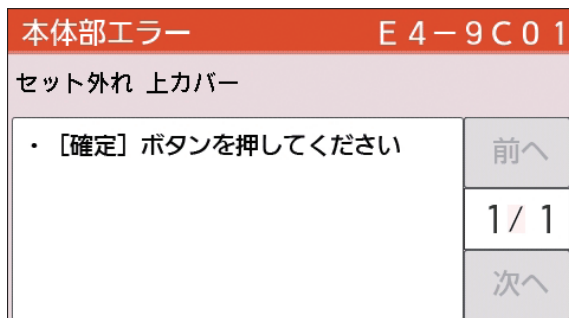
- 機内に硬貨が残留していた場合は、リセット処理時に返却されます。

その他のエラーが発生したときは

■ 画面に「確定ボタンを押してください」と表示された場合

確定ボタンを押す。

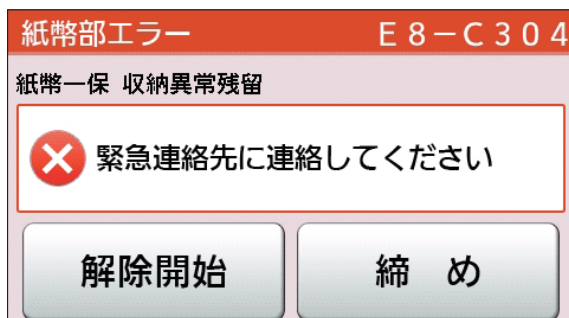
リセット処理後、問題がなければモード選択画面に戻ります。



■ 画面に「緊急連絡先に連絡してください」と表示された場合

装置をそのままの状態にして、緊急連絡先まで連絡する。

緊急連絡先の電話番号は、製品上面に貼り付けてあります。



その他

製品仕様

項目		内容
表示部 (タッチパネル)	表示方式	TFT カラー液晶 (4.3 インチ)
	解像度	480 × 272 (16bit カラー インデックスカラー方式)
	操作方式	タッチパネル
レシートプリンター	仕様	サーマルプリンター 24 桁ジャーナル
IC カードリーダー	カード規格	本製品に搭載しているリーダーライターは、電波法施行規則による総務省指定の型式 CPURW-01 第 EC-14018 号を取得しています。
紙幣部	取扱金種	国内発行現行 4 金種 (D 券) : 万円・5 千円・2 千円・千円
		国内発行現行 3 金種 (E 券) : 万円・5 千円・千円
	計数速度	約 10 枚/秒
	セット方法	短手一括装填
	投入口最大容量	約 300 枚 (一般流通紙幣相当)
	リジェクト口最大容量	約 20 枚 (一般流通紙幣相当)
	一時保留部最大容量	約 200 枚 (一般流通紙幣相当)
	カセット最大容量	約 2500 枚 (金種混合/一般流通紙幣相当)
硬貨部	取扱金種	国内発行現行 6 金種 (500 円・100 円・50 円・10 円・5 円・1 円) ※ただし、変形硬貨および記念硬貨などの特殊硬貨は除く
		計数速度
	セット方法	一括投入
	投入口最大容量	約 300 枚 (10 円換算)
	リジェクト口最大容量	約 10 枚
	一時保留部最大容量	約 300 枚 (500 円は 2 枚換算)
	返却部最大容量	約 300 枚 (500 円は 2 枚換算)
		カセット最大容量
外形寸法	400mm (幅) × 500mm (奥行き) × 1080mm (高さ) (突起部は除く) ※高さ寸法はキャスターなしの場合 キャスターありの場合は、1110mm	
質量	約 120kg (添付品・オプション除く)	
防犯検知	あり	
外部通信機能	あり	
電源仕様	定格電圧	AC 100V ± 10%
	定格電流 (注 最大値)	AC 1.9A
	周波数	50/60Hz ± 1%
	待機時消費電力	35W
	定格消費電力 (注 最大値)	185W
	稼働時最大皮相電力	190VA
	電源コンセント・コード	JISC8303 2 極接地極付引掛型 (15A 125V)
環境条件	温度	5℃～35℃ (稼働時) - 10℃～60℃ (非稼働時)
	湿度	20%～90% RH (稼働時) 10%～95%RH (非稼働時) ※ただし、結露しないこと

本仕様は予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

付属品一覧

保管の際は、高温多湿・直射日光を避けてください。

プリンター用紙（サーマルロール紙）…………… 1

廃棄についてのお願い

- この製品は、通貨識別装置を搭載しています。
通貨識別装置の流出は、偽造通貨犯罪の主要な原因になります。
製品の買い替え、廃棄に際しましては、ユーザー各位にて破砕などの方法で識別機能を消滅させ、
廃棄するようお願いします。
 - この製品は、リチウム電池を搭載しています。
廃棄時の危険を防止するために、リチウム電池の＋・－端子部を「セロハンテープ」などで絶縁し、
所在する市町村の指示に従って廃棄してください。
- ※廃棄時の必要な処理ができない場合は、最寄りの当社販売店または当社指定の取扱店にご連絡ください。

○オープンソースソフトウェアについて

この製品ではオープンソースソフトウェアを使用しています。
使用しているオープンソースソフトウェアとライセンス条項については、下記をご確認ください。

The files in this distribution are provided under the following license:

Copyright (c) 1998-2018, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;

binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation.

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its operation, including, but not limited to, correctness and fitness for purpose.

SD- IX

取扱説明書

初版日 2022年8月17日

版数 初版

